

君たちへ前立つ 怖れと喜び

高度情報化社会と言われる今日、言葉は社会にあふれている。

何気ない一言が思わぬ誤解やトラブルを引き起こし、信頼関係を損なう場合がある。

逆に、その一言が自他の心を揺さぶり、明日に生きる力の糧となるような言葉の力を経験した人も多いはず。

一言のちがいでその印象はこうも変わるものか。

行動が遅い ↓ 慎重なんだね

おしべり ↓ 豊かな表現力だね

お立ち着きがない ↓ すばい行動力だね

さらに人生を根底から変えるその一言との出会いもある。

立ち止まることもひとつの動きなんだよ”

(不登校生徒への担任の一言)

“思うにどこを向いていても自分が向いている方が前なんだよ”

(心の病で入院をくり返して来た時、「私はどこに向かっているのだから」というメールに友人が返した一言)

あなた、ここに居座り下さい”

(夫に「出ていけ」とどなられた事が、私の一番大切なものの一つ持つていこう」と風呂敷を広げて言った一言)

職業から人前で話す機会が多い私も、これまで「言葉の力」の前で怖れと喜びを味わってきた者の一人だ。



過

は野弘

福ニヤ

校長室

だより

ほたる草

平成二十八年一月二十九日(金)

No.86

日々を過す
日々を過す
日々を過す
二つは
一つのことか
生きている間は
そのまゝ過す
あるかもしれない日々